



# 目指すはアジアのリゾートシティ！ 特定複合観光施設 (IR) 区域認定を九州一丸となって推進

IR導入効果は県全体、九州、そして全国へ！

**POINT!** IR導入により  
 一大リゾート都市として  
 覚醒へ



©ハウステンボス/J-19491

## 区域認定を目指す「九州・長崎IR」

佐世保市ハウステンボス地域において、特定複合観光施設 (IR) の区域認定を目指しています。既に複数の事業者から提案があり、区域認定が実現すれば、MICE施設・宿泊施設・エンターテインメント施設等の整備で、**3,500億円～4,600億円**の投資が見込まれます。



## 多様な産業と結びつき、 地域経済の振興に大きく貢献

建設、観光・レジャー、施設運営、輸送など多様な産業と結びつくことで、地域経済の振興に大きく寄与します。また、施設内で使用する農水産物・飲料、事務用品、ビルメンテナンス、物流サービスなど様々な物品・サービスが地元企業に発注され、大きなビジネスチャンスとなるのが期待されます。

### 【期待される効果】

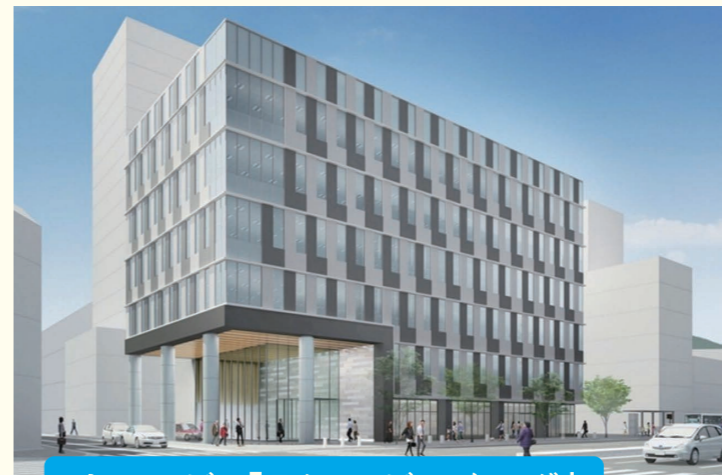
集客延人数	690万人～930万人/年
経済波及	3,200億円～4,200億円/年(運営)
雇用創出	2.8万人～3.6万人/年(運営)



## 佐世保市が「日本の入り口」へ！ クルーズ船対応によりゲートウェイを確保

佐世保港が国際クルーズ拠点に指定され、IR区域に近接する浦頭地区では世界最大クラスのクルーズ船社・カーニバル社が国際ターミナルを整備し、2020年供用開始されます。

**POINT!** 商業・産業の舞台も確保



オフィスビル「ラクロスビルディング」



佐世保相浦工業団地

佐世保市では新たに市内最大規模のオフィスビル「ラクロスビルディング」が着工されており、2021年4月に供用を予定しています。また、「佐世保相浦工業団地」が2019年10月に分譲を開始し、雇用の拡大が期待されています。

**POINT!** 長崎全土、九州への効果波及を促す高速交通ネットワーク

高速道路ネットワークの整備により、佐世保市および県北全体の道路交通環境が一変します。高速交通ネットワークが構築されることで、長崎県全体、そして九州全体の広域観光による消費促進へ波及します。

### 佐世保・平戸・松浦地域

西九州自動車道の全線開通により、佐世保、松浦、福岡、佐賀に循環型ネットワークが形成され、佐世保・平戸・松浦地域の世界遺産の教会群や水産品などの魅力的な地域資源を発信する機会が訪れます。

### 佐世保・東彼杵地域

東彼杵道路の整備を国に強く働きかけており、実現すれば長崎空港から長崎県が誘致を目指すIRへのアクセスも大幅に改善され、外国人や観光客などの利便性も飛躍的に向上します。令和2年度から事業化の前段である計画段階評価を進めるための調査に着手されました。

### 佐世保・西彼杵地域

西彼杵道路の整備により、佐世保・長崎間のアクセス時間が短縮されます。また、大村湾を周回する広域的な循環ネットワークが形成され、県全体を舞台としたビジネスチャンスをもたらします。



## プラスONE

### 周辺の歴史遺産・自然を生かす 着地型観光受け皿整備

IR区域認定が富裕層来訪の新たな呼び水になることが期待される。より地元が潤うためには、県北地域のキリスト教関連遺産群など歴史遺産や自然を活用した着地型観光商品の開発や「おもてなし」人材の育成など、地域の自発的な取組が不可欠である。

## 期待される 相乗効果 連携

- リゾートIRとして認知され、さらに多様な産業と結びつき、地域経済の振興に大きく貢献
- 交流人口の増加だけでなく、質の高い雇用の場の創出により、活気あふれる地域に進化